

北海道議会議員  
Go forward 北海道  
たけだ浩光 道政通信  
ひろみつ  
所属党派：民主・道民連合  
住みやすい『西区』、そして『北海道』をめざします!  
発行：たけだ浩光政務事務所 〒063-0811 札幌市西区琴似1条7丁目1-35 ☎011-624-8030 FAX 011-624-8031



## 第3回 定例道議会

2024.9.10~10.4

第3回定例道議会は、代表質問には民主・道民連合から笹田浩議員（渡島地域）が立ち、一般質問には私、武田が質問に立たせていただきました（後述）。359億190万円の一般会計補正予算が可決され、一般会計予算総額3兆588億9300万円となり、10月4日閉会した。

なお、代表質問では、事務手続きの誤りによりコロナ臨時交付金7億3千万を国に返還したことに対する、知事自身の責任を質したが、明確な答弁がなかった。しかしその後議論は予算特別委員会へと引き継がれ、知事は総括質疑の中で謝罪の意を表明した。



9月20日、一般質問に立つ武田道議

- 一般会計
- \*ヒグマ対策推進費
  - \*JR単独維持困難区支援事業費補助金
  - \*国立公園インバウンド誘客促進調査事業費
  - \*介護サービス事業者協働化等促進事業費補助金
  - \*電子処方箋の活用・普及促進事業費
  - \*畑地化促進事業費補助金
  - \*国庫返納金及び地元返還金
  - \*財政調整基金積立金
  - \*災害復旧事業費
  - \*特別対策事業費 等



## 第3回 ミニ道政報告会を開催しました!

【日時】：2024年10月5日（土）10時～  
【場所】：はちけん地区センター 集会室B

第3回北海道議会定例会の閉会日翌日の10月5日（土）に、第3回目となるミニ道政報告会を開催し、参加者7名程度のごじんまりとした中で、皆様に議会最新情報の提供をさせていただきました。開催ビラを配布しただけのお知らせでした。参加者の皆さんありがとうございました。道政報告をさせていただきますながら、皆様からのご意見を交えながら、自由な感覚で思ったことを皆様と懇談をさせていただきます。

非常に貴重なご意見ありがとうございました。地域の課題解決に向けた取り組みや、今後の道政の在り方に反映させていただきたいと思っております。

非常に貴重なご意見ありがとうございました。地域の課題解決に向けた取り組みや、今後の道政の在り方に反映させていただきたいと思っております。

- ＜主な出されたご意見＞
- ◎物価のみが上昇している。増税・減税議論が国民に分かりづらい。
  - ◎幹線道路は、比較的除排雪がなされているが、下手稲通りは幹線なのにあまりにも除雪が悪く、危険すぎるのはなぜ？
  - ◎カスハラ対策はの基本は国だが、道も国を押し上げるよう頑張るべき。
  - ◎地方への産婦人科対策、南檜山は最悪。要対策。
  - ◎滝川市と砂川市、士別市と名寄市のような重複医療圏の調整を道がやるべきでは。他に都市部と地方との課題・矛盾の改善が必要。
  - \*その他、マイナンバーカードと保険証、知事の動きが見えない・・・等々



# 核今さら聞けない… 原発

シリーズ企画第4弾 ②

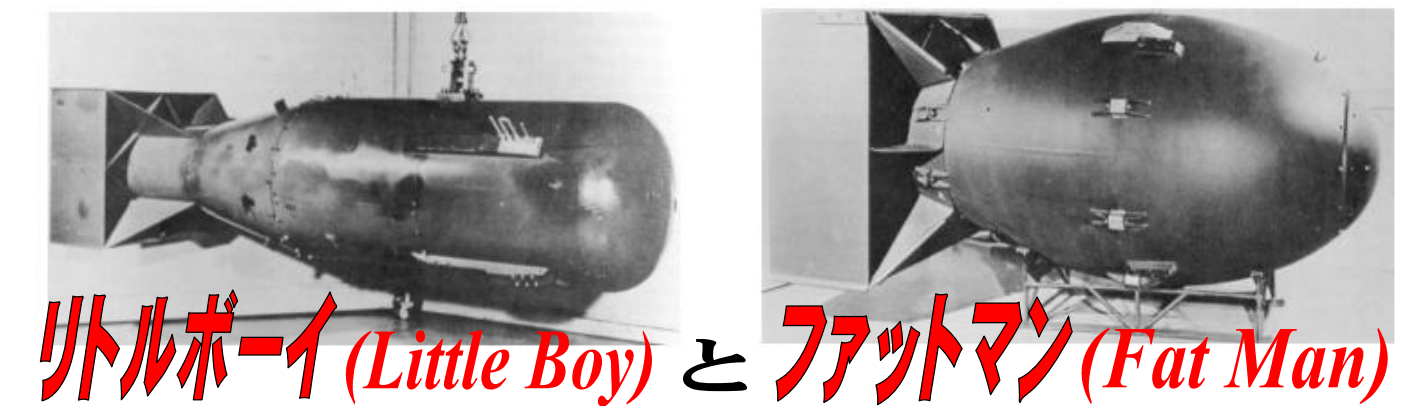
## 世界初の原子炉

今回は、1942年の世界初の原子炉について紹介しました。これは、シカゴ・パイル1号と呼ばれており、図1にあるとおり、黒鉛ブロックを積み上げた（名前のとおりpile）小型原子炉で、形式としては黒鉛減速空気冷却炉です。この原子炉のエネルギー出力は200W程度で、100Wの電球わずか2個分です。この原子炉の目的は、臨界状態を作ること、発電が目的ではなかったからです。というより、原子力発電のアイデアが検討されるのは第二次世界大戦後になってからです。

これにより、アメリカは原子爆弾の原料となるプルトニウムを作ることが可能になりました。ちなみに、原爆の原料としてはウランもありますが、アメリカが製造したウラン爆弾は広島原爆の一発だけでした。対照的に、水爆の起爆用原爆も含め、今日までもっぱらプルトニウム原爆が大量に作られることになりました。



図1. 世界初の原子炉、シカゴ・パイル1号（Wikipediaより）



## リトルボーイ (Little Boy) と ファットマン (Fat Man)

広島に投下された原子爆弾は、ウラン-235を原料とし、長さ3m、直径0.7m、重さ4tで、見た目が細いのでリトルボーイと呼ばれました。この原爆は市街中心地の地上約600mで爆発し、通常の爆薬に換算して約16キロトン分の破壊力がありました。

一方、長崎に投下された原爆は、プルトニウム-239を原料とし、長さ3.5m、直径1.5m、重さ4.5tで、ずんぐり太った感じなのでファットマンと名付けられました。この原爆は地上約503mで爆発し、通常の爆薬に換算して約21キロトン分の破壊力があり、広島原爆より強力に爆風による被害も広島よりも大きくなりました。

たけだ浩光プロフィール



- 【すまい】 西区西野（在52年）
- 1960年 江別市生まれ
- その後、すぐ札幌へ
- 1979年 北海道立札幌西高等学校 卒業
- 1980年 北海道大学水産学部 中退
- 1985年 北海道大学医学部附属 診療放射線技師学校 卒業
- 1985年 札幌医科大学附属病院勤務
- 2019年 北海道議会議員 初当選
- 2023年 北海道議会議員 二期目当選

〒063-0811  
札幌市西区琴似1条7丁目1-35 さんばちビル2階  
TEL:(011)624-8030 FAX:(011)624-8031  
e-mail : info@takeda-hiromitsu.com

たけだ浩光オフィシャルWebサイト

たけだ浩光 検索

オフィシャルWebサイトで道政通信のバックナンバーがご覧いただけます



**(3) 看護職員の確保について**…高齢化が進む現代社会では看護ニーズが高まっており、看護職員の確保が困難になると考えられることから、看護職員の処遇改善や就業促進などに取り組むべきと考えるが、知事の所見を伺う。

**【保健福祉部長兼感染症対策監】**全国知事会を通じて、診療報酬の見直しによる処遇改善を国に要望しているところ。北海道総合保健医療協議会や看護協会などと連携を強化し確保対策に取り組んでまいり。

**(4) 医師の偏在是正について**…厚生労働省では、都市部での開業医抑制や医師不足地域での財政支援などの対策案を公表している。そのため、開業医の道外流出も予想される。そこで、北海道独自の施策が必要と考えるが、知事の所見を伺う。

**【保健福祉部長兼感染症対策監】**国の動きを注視し、医育大学や医師会、市町村などで構成される北海道医療対策協議会の場で議論を深めるなど、効果的で実効性のある対策の推進に努める。

**<再質>**北海道は決して医師が少ないわけではなく、地方に少ないだけ。医師1人育てるのに6年かかることから、地域に医師が定着できる施策を打ち出すことが重要だと思いが知事の所見を伺う。

**【知事】**これまで修学資金貸付制度や医師派遣や地域応援ナース事業など実施してきた。今後とも関係団体と連携し、効果的かつ実効性のある施策を推進し、確保に取り組んでまいり。

**8 がん対策について** (1) **北海道がん対策推進計画について**…北海道がん対策推進計画は、十分に評価できるところはあるが、単に施策の進捗状況の把握・分析・見直しにとどまらず、国同様にロジックモデルの活用をすべきと考えるが、知事の所見を伺う。

**【保健福祉部長兼感染症対策監】**推進委員会でのロジックモデル活用の意見も出ていることから、委員会議論を進めるなど総合的かつ計画的に推進されるよう適切な進捗管理に努めてまいり。

**<指摘>**ロジックモデル活用について言及がありました。ぜひ取組を進めていただきたい。

**(2) 標準化死亡率 (SMR) について**…SMR (年齢構成の異なる地域間の死亡状況を比較するために、年齢構成の差異を調整して算出した死亡率) は、悪性新生物全体で見ると、地域別最大値 (最小値) は男性で**岩内町143.7 (音威子府村70.5)**、女性**赤井川村149.9 (浜頓別町66.2)**です。慎重な評価・分析が必要と思うが、この値の地域差は無視できないと考える。知事の所見を伺う。また、SMR値の高い原発立地周辺地域を鑑みれば、健康を守る上でも原発再稼働を見合わせる判断があってもよいと思うが、知事の所見を伺う。

**【保健福祉部長兼感染症対策監】**SMRの数字のみにとらわれず、慎重に判断する必要がある。科学的根拠に基づくがん対策を踏まえ、地域の実情に応じた施策に取り組んでまいり。泊原発再稼働については、原子力規制委員会の審議が継続中であり、予断を持って申し上げる状況にはない。

**<指摘>**慎重な判断には異論はないが、知事はいずれかの時点で、高度な政治判断を求められる時が来るはず。その時の判断材料の1つにならないかという提案であり、地質学ではなく、医学的アプローチの考え方を強く、強く知事に提言しておく。

**<担当スタッフ>**和田 朱里  
生年月日：2004年4月28日  
出身地：小樽市  
出身大学：北海学園大学経済学部  
武田議員のもとでインターンシップのサポートをさせていただきました。スタッフの和田朱里です。私もインターン生だった時に新しいと話すことの楽しさを学ばせていただきました。この2カ月間で武田議員の暖かさに触れることができました。インターン生にも新しい学びや経験、成長してもらえたら幸いです。

**<武田議員へ一言>**  
初めてお会いした時、武田議員だけでなく事務所の皆様も暖かく出迎えてくださったことを覚えています。2カ月はあっという間で、スタッフとして何か与えられたものがあるか、不安はありますが、インターン生は楽しみながら学んでくれたと感じています。未来国会の準備も団体主催のイベントにも出向いてくださり、とても素敵な方と一緒にいることが出来て大変楽しかったです。ありがとうございました。

## 政治って身近だよ インターン生(夏)



**<インターン生>**後藤 羽菜  
生年月日：2005年9月10日  
出身地：札幌市豊平区  
出身大学：北海学園大学経営学部  
武田議員のもとでインターンシップをさせていただきました。参加した理由は、新しいことにチャレンジしたかったからです。最近は自炊を頑張ってます。得意料理はオムライスです。  
**<武田議員へ一言>**  
まず、約2カ月間という短い間でしたがありがとうございました。武田さんは未来国会に向けて、政策のアドバイスをしてくださったり、リハーサルを開いてくださるなど、沢山私たちに助けてくださりました。私はこのインターンを通して、武田さんはすごく優しい方だと感じました。市民一人一人の声に耳を傾けていることや、周りの方々からの信頼があるためそう感じました。そんな武田さんのもとでインターンシップができてよかったです。本当にありがとうございました。

**<インターン生>**林 芳夏  
生年月日：2004年7月4日  
出身地：札幌市豊平区  
出身大学：北海学園大学工学部  
趣味は、韓国アイドル「STRAY KIDS」のライブ鑑賞です。おすすめは「MIROH」「MANIAC」です。ぜひ聞いてみてください。  
**<武田議員へ一言>**  
たくさんの貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございます。私は今まで政治に深く関心がなかったのですが、今回の活動で札幌の政策や現状の問題点について詳しく知ることができ、興味を持つことが出来ました。また、未来国会のリハーサルを開いてくれたり、お食事会に連れていただいたり大変楽しい時間を過ごすことが出来ました。貴重なお時間を割いて、私たち学生に快く対応してくださり、本当にありがとうございました。

## “第3回定例道議会 一般質問” 【9月20日(金)】 質問者：武田浩光



**1 人事院勧告について** 常勤職員と再任用職員の格差の1つが寒冷地手当未支給である。人事院が今回、来年の4月1日からの支給勧告を出したが、厳冬の北海道、燃料代の高騰を考慮し本年4月1日からとすべきと考える。また、期末・勤勉手当に格差をつける理由はないと考えるが、知事と北海道人事委員会の所見を伺う。

**【知事】**再任用職員の手当てを含めた職員の給与については、引き続き人事委員会の勧告を基本とし、適切に対応してまいり。

**【人事委員会委員長】**現在、地域特性なども踏まえ検討を行っている。引き続き国や他府県の動向を踏まえ、適切に対応してまいり。

**<指摘>**職員の「やる気」の維持を考えるのは、トップリーダーとしての知事である。再任用職員の寒冷地手当の今年からの支給と常勤職員との格差解消に真摯に取り組むことを強く指摘しておく。

**2 道職員の多様な働き方について** 知事の言う「職員の多様な働き方」は大変重要と考えるゆえに、職員だけでなく管理職員の意識と行動の変革が重要と思う。知事の考える「多様な働き方」を伺う。

**【知事】**今後とも、道政をとりまく環境変化に対応していくため、スマート道庁をはじめとする環境整備を図り、管理職をはじめ職員一人ひとりに意識改革を促しながら、取組を進めてまいり。

**3 海溝型巨大地震の津波対策について** 特措法による特別強化地域における津波タワーなどの施設整備の進捗状況と整備完了予定を伺う。国からの支援のない残り1/3に対する道の市町村への支援について伺う。

**【知事】**事業費に占める市町の実質負担を18.3%から8.6%まで軽減する道独自の財政支援を実施している。今後とも関係機関と連携し、避難施設の整備が計画的に進められるよう支援してまいり。

**4 原子力防災について** 夏場の原子力災害時における屋内退避のあり方についての道の所見と、道がこれまでに検討してきたことも併せて伺う。

**【危機管理監】**近年、暑さ対策として、冷房機器の整備やこまめな水分・塩分補給など熱中症予防に関する周知を行ってきた。今後とも環境改善に向けた取組を促進してまいり。また、国への支援要請、原子力防災計画やマニュアル等の点検、施設損傷や孤立地域の発生を想定した防災訓練の実施など対策の強化に取り組む。

**<指摘>**現地に原発が存在している限り、訓練のやりすぎということはない。実効性のある防災計画の整備と、訓練に取り組むべきことを指摘しておく。

**5 札幌医科大学について** 札医大への運営交付金については、自助努力による1%削減を達成してきたとはいえ、大学経営を圧迫しかねない。今後の交付金の在り方について大学と協議しながら進めるべきと考えるが知事の所見を伺う。

**【知事】**今後とも、本道の地域医療に貢献する役割を果たせるよう、札医大と意見交換を緊密に行うとともに、必要な支援に努めてまいり。

**6 公職選挙法改正の必要性について** 7月に行なわれた東京都知事選で、掲示ポスターをめぐる問題が起きたが、これらに対する法改正は、その趣旨を踏まえた慎重な対応が必要と考えるが、この件に対する知事の所見を伺う。

**【知事】**選挙は、自由で公正な環境が確保されるべきであることから国会での丁寧な法改正の議論がなされる必要があると考える。

**7 地域医療について** (1) **北海道地域医療構想について**…近年における人口減少、少子高齢化や新型コロナウイルス感染など想定外の社会情勢からも、北海道地域医療構想を早急に検証・見直しすべきと考えるが、知事の所見を伺う。

**【知事】**国の動向も注視しつつ、引き続き調整会議での協議を通じ、医療機能の分化・連携を進めるなど、将来にわたり持続可能な医療提供体制の構築に取り組んでまいり。

**(2) 地域医療における公立病院の在り方について**…コロナ禍の中、地方医療を支えたのは地域の公立病院である。コロナ関連補助金による黒字経営となった病院が、コロナが5類移行後は赤字経営を余儀なくされている。この実情についてと、公立病院の在り方について知事の所見を伺う。

**【知事】**今後とも、公立医療機関等が必要な医療を担えるよう、地域医療介護総合確保基金等を活用した支援を行うとともに、財政措置を国へ要望するなどして、道民の皆様がどこに住んでいても、必要な医療が受けられるよう、地域医療の確保に取り組んでまいり。

**<指摘>**是非、答弁にあった取組を推進していただきたい。